

今回の Topic

福祉用具レンタル・複数商品提示について



ふくせん福祉用具サービス計画書・新様式案

2018年4月より、福祉用具貸与品について機能や価格の異なるものを複数提案することが義務付けられます。

ふくせん福祉用具サービス計画書

【基本情報】 様式の変更無し
利用目的、選定に必要な利用者情報を記載

【選定提案(暫定版)】 新たに作成
利用者から聞き取った相談内容、利用者候補として提案する福祉用具の品目(機種、型式またはTAISコード)、事業所における貸与価格、全国平均貸与価格、提案する理由、説明方法等を記載

【利用計画】 署名部分の文言変更、様式の変更無し
選定された福祉用具の利用に関して、利用目的、選定理由、留意点などを記載

利用者から聞き取った相談内容、困りごとを整理

実際に貸与することが決まった商品をチェック

機種の機能や価格、全国平均貸与価格を説明する際に用いた方法を記載

私は、貸与の候補となる福祉用具の全国平均貸与価格等の説明を受けました。
私は、貸与の候補となる機能や価格の異なる複数の福祉用具の提示を受けました。
私は、福祉用具サービス計画の内容について説明を受け、内容に同意し、計画書の交付を受けました。

利用者に対して全項目の説明を行い確認をしながらチェックし、署名・捺印をいただく

上段に整理した「福祉用具が必要なる理由」と対応する番号を記載

貸与する福祉用具の候補として提案する福祉用具の品目、提案福祉用具品目、機種(型番)またはTAISコードをそれぞれ記載

貸与される福祉用具の候補として当該機種が提案される理由を記載
【例】
・ 利用者の困りごと、希望、心身状態を踏まえた機能等
・ 当該福祉用具の利用環境との整合を踏まえた機能等
・ 当該福祉用具を利用する際の留意事項や留意点等

新様式の記載例では、事業者が貸与候補として提案する全ての福祉用具について、複数の商品で機能の違いが分かるよう、それぞれの選定理由を書きだして説明する必要があります。(同じメーカーの違う商品でも可能です。)

記入項目の中で、利用者にわかりやすく表現する必要があり、頭を悩ませるのが、「提案する理由」欄です。

「家族コール2」は4つのタイプから選択できます。ご利用者に分かりやすくご提示いただけるよう、次ページにタイプ別の特徴をまとめましたのでご参考にしてください。

■ 家族コールのラインナップ

<p>A タイプ ベッドからの起き上がりを報知します。 家族コール2・Aタイプ</p>  <p>床センサー コンソール 10</p>	<p>B タイプ ベッドからの離床を報知します。 家族コール2・Bタイプ</p>  <p>ベッドセンサー コンソール 10</p>
<p>C タイプ 赤外線で離床・徘徊行動を検知します。 家族コール2・Cタイプ</p>  <p>起き上がり 部屋の移動 出口でもOK! 立ち上り</p> <p>ハイパー・赤外線センサー-K</p>	<p>D タイプ ドアや窓を開けると報知します。 家族コール2・Dタイプ</p>  <p>ドアスイッチ K コンソール 10</p>

受信器は
選べる
2タイプ

固定受信器タイプ
メロディチャイム 10



携帯受信器
(ポケットタイプ)
ポケット受信器



Point

選定する場合のポイント

A
タイプ

床に敷くマットタイプのセンサーで、対象者がセンサーを踏むと報知します。ベッドから足を下ろした所や玄関マットの下などに設置して、対象者の移動や外出行動を報せます。

B
タイプ

ベッド上に設置するセンサーで、対象者がベッドから起き上がると報知します。ベッドパッドやシーツの下に敷くセンサーなので、対象者の目に触れず気付かれません。

C
タイプ

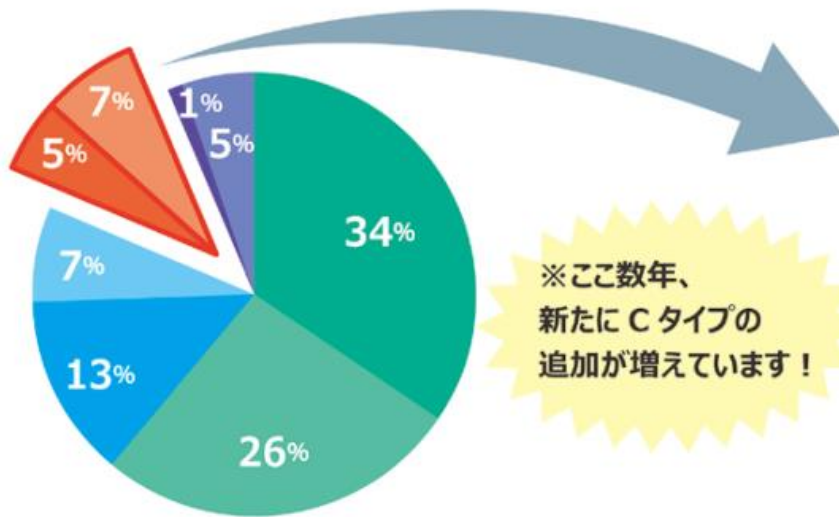
ベッド周りや部屋の出入口など、様々な場所に設置できる赤外線センサーで、対象者がセンサーの照射エリアを通過すると報知します。時間帯や対象者の状態に応じて設置場所を簡単に変更できる汎用性の高いセンサーです。

D
タイプ

扉や窓の開閉部に設置するセンサーで、対象者が扉などを開けた時に報知します。居室内の移動や行動は問題がない対象者が、扉を開けて出ていく時に確実に報せるセンサーです。

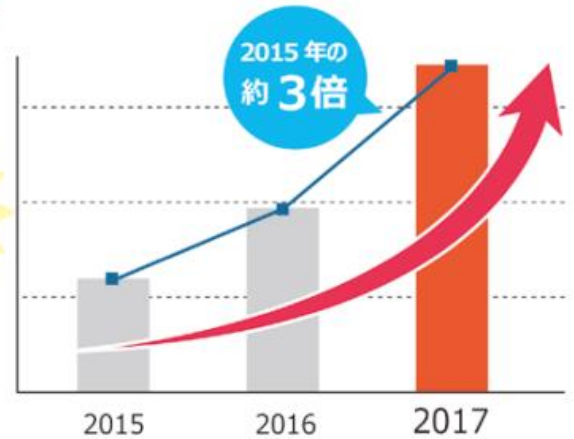
次ページでは、複数提案に最適な「家族コール2・Cタイプ」の情報をお届けいたします。

■家族コールの出荷割合 [2017 年度]



※ここ数年、
新たにCタイプの
追加が増えています！

「Cタイプの出荷数の推移」



■ Aタイプ ■ Bタイプ ■ Cタイプ ■ Dタイプ
■ Aポケットタイプ ■ Bポケットタイプ ■ Cポケットタイプ ■ Dポケットタイプ

家族コールの出荷割合を見ると、「Cタイプ」は2015年度出荷量の約3倍になっています！



Cタイプは、ベッド周りや部屋の出入り口など様々な場所に設置できる赤外線センサーで対象者がセンサーの照射エリアを通過すると報知します。
時間帯や対象者の状態に応じて設置場所を簡単に変更できる汎用性の高いセンサーです。

今号のテクノス通信 Home「在宅ケア Now」のコーナーでは
「家族コール2・Cタイプ」の使用現場をご紹介します。
是非ご覧ください。